

市や町の歳出の状況（令和5年度一般会計当初予算）

市町名	人口（人）	歳出合計（億円）	構 成 比（%）						
			民生費	土木費	教育費	衛生費	農林水産業費	公債費	その他
金 沢 市	458,004	1,819	39.6	10.5	12.9	11.0	1.6	10.5	13.9
七 尾 市	47,831	316	28.9	9.6	10.1	10.2	6.0	12.9	22.3
小 松 市	104,562	477	36.7	13.3	16.1	6.1	2.3	11.4	14.1
輪 島 市	22,383	196	24.5	11.3	8.9	12.9	4.7	17.4	20.3
珠 洲 市	11,979	116	19.6	11.5	7.0	18.3	3.4	13.6	26.6
加 賀 市	60,862	340	34.9	14.8	13.2	8.9	1.1	10.3	16.8
羽 咋 市	19,401	124	22.8	18.2	8.6	14.9	5.2	10.5	19.8
白 山 市	109,465	507	30.1	9.3	12.5	12.9	1.8	15.0	18.4
か ほ く 市	35,100	176	34.6	7.9	14.7	6.0	1.9	15.2	19.7
能 美 市	48,201	268	33.7	9.5	10.9	7.5	1.4	18.1	18.9
野々市市	57,765	206	44.5	6.9	17.1	7.6	0.3	9.2	14.4
川 北 町	6,070	44	21.3	13.6	21.4	12.0	4.1	8.1	19.5
津 幡 町	36,802	145	34.0	15.6	11.4	6.6	4.3	10.1	18.0
内 灘 町	26,171	99	40.5	11.7	13.2	4.9	1.4	11.0	17.3
志 賀 町	17,552	122	26.2	10.8	13.3	11.6	5.2	10.4	22.5
宝達志水町	11,459	91	19.8	16.4	16.8	13.6	3.3	9.1	21.0
中能登町	15,871	102	25.5	16.4	10.9	9.5	6.0	13.1	18.6
穴 水 町	7,451	68	23.0	12.8	6.3	14.3	3.7	12.0	27.9
能 登 町	14,554	151	24.2	12.2	8.4	8.6	5.2	19.3	22.1

（注）歳出データは公表されている当初予算。構成比は四捨五入の数値。人口データは令和5年4月1日現在。

民生費

社会福祉の向上のために、暮らしに困っている人を援助したり、体の不自由な人や身よりのない老人のための施設をつくらしたりするに使われます。

土木費

住みよい街づくりのため、道路、橋、河川、港湾、空港などの建設設備に使われます。

教育費

児童生徒がよい環境のもとで学校教育を受けられるよう、学校施設の整備、充実に使われます。

衛生費

ゴミ処理や清掃、健康を守るための施設などのために使われます。

農林水産業費

農林業や水産業の振興を図るため、技術指導や経営指導をしたり、農地、農林道、漁港の整備・改良などに使われます。

公債費

市町村債の借り入れたお金を返済するために使われる支出です。

その他

市町村の仕事を経営的に進めていくための経費などです。

■ 9 ページ ③の解答例

- ・ 税率を上げ、公債返済に充てる。
- ・ 公的サービスを減らし、公債をできるだけ発行しない。など

■ 10 ページ ④の解答例

社会保障給付費が年々増え勤労者1人あたりの負担が2000年～2050年までの間に約3倍になっている。など

市や町の歳入の状況（令和5年度一般会計当初予算）

市町名	人口（人）	歳入合計（億円）	構 成 比（%）					
			市町村税	地方交付税	国庫支出金	県支出金	市町村債	その他
金 沢 市	458,004	1,819	46.7	5.6	18.4	7.6	4.6	17.1
七 尾 市	47,831	316	24.8	31.0	11.4	7.5	10.9	14.4
小 松 市	104,562	477	34.6	16.7	17.2	8.1	7.7	15.7
輪 島 市	22,383	196	12.7	48.0	9.3	5.8	8.6	15.6
珠 洲 市	11,979	116	11.9	47.7	6.6	3.6	10.4	19.8
加 賀 市	60,862	340	26.2	24.2	17.0	5.9	10.0	16.7
羽 咋 市	19,401	124	20.6	33.4	11.1	6.8	11.5	16.6
白 山 市	109,465	507	36.2	20.6	12.4	7.1	9.4	14.3
か ほ く 市	35,100	176	24.5	33.4	9.8	5.6	8.6	18.1
能 美 市	48,201	268	33.0	17.2	10.6	5.1	15.4	18.7
野々市市	57,765	206	39.9	10.2	18.0	7.5	5.6	18.8
川 北 町	6,070	44	28.4	21.0	14.5	3.8	15.1	17.2
津 幡 町	36,802	145	29.7	22.8	15.2	8.3	10.1	13.9
内 灘 町	26,171	99	27.0	26.8	13.7	8.7	6.3	17.5
志 賀 町	17,552	122	33.1	27.5	14.4	6.2	5.5	13.3
宝達志水町	11,459	91	18.2	36.0	10.5	4.2	11.8	19.3
中能登町	15,871	102	17.0	43.1	9.2	7.1	7.3	16.3
穴 水 町	7,451	68	16.2	44.3	11.9	5.6	11.9	10.1
能 登 町	14,554	151	10.2	49.7	6.0	5.0	13.9	15.2

（注）歳入データは公表されている当初予算。構成比は四捨五入の数値。人口データは令和5年4月1日現在。

市町村税

市町村民税、固定資産税などです。

地方交付税

国に納められた所得税、法人税、酒税等の一部が、地方公共団体の財源の均衡を図るため、県及び市町村に交付されるものです。

国庫支出金

国が地方公共団体の行う公共事業、社会保障、教育など特定の経費にあてるため、県及び市町村に支出する補助金、負担金等です。

県支出金

県が市町村の行う公共事業、社会保障、教育など特定の経費にあてるために市町村に支出する補助金、負担金等です。

市町村債

市町村が事業を行うことにより生じる財源不足を補うため、国や銀行などから長期にわたってする借入金です。

その他

施設の使用料・手数料などです。

■ 9 ページ ①の解答例

- ・ 税収に比べ、歳入が多いので、その分を公債でまかなっている。
- ・ 公債残高が年々増え続けている。
- ・ 公債残高は税収の15年分に相当する額である。 など

■ 9 ページ ②の答え

約854万円

（注）「日本の財政関係資料」令和5年4月財務省によります。